

# 議員活動ふりかえり — 市議会時代から県議会時代、そしてこれから・・・

## message

2007年、25歳で市議会議員初当選してから現在まで、16年の政治家人生を振り返ります。現在、県議会議員に就任して、8年となりました。多くの皆さんに支えられながら、田川のため、県政のために、さまざまな取り組みを行ってきました。

大変なことも多かったですが、多くの成果につなげることができました。実現した政策や活動を振り返ります。



## 市議会議員時代に 取り組んできたこと

2007-2015



## 2007 | 2011 市議会議員 1期目の取り組み

### 01 小学校35人以下学級 予算増額修正で実現(28歳)

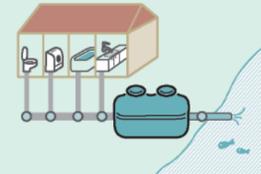


2010年度予算において、強く要望していた少数学級予算が計上されなかったことから、小学校1年生から3年生までを35人にするため、予算の増額修正案を提出。可決成立しました。現在、田川市では小中学校全てにおいて35人以下学級が実現しています。



## 2011 | 2015 市議会議員 2期目の取り組み

### 01 市下水道計画を中止に 合併浄化槽による汚水処理へ



市が推進していた下水道計画のずさんさを指摘し、中止に追い込みました。その後二場市政において下水道計画は正式に中止され、現在合併浄化槽による汚水処理が進められています。将来に大きな負担となる計画を変えることができました。

### 02 市議会基本条例を制定 条例制定の中心的役割を担う



議会改革の流れが全国的に進む中、田川市議会においても議会基本条例の制定を目指し、特別委員会を設置。条例案の原案作りの多くに関与しました。これからは議会と市長が、二元代表制のもとで善政を競い合う健全な緊張関係であってほしいと思います。

## 県議会議員 取り組んできたこと

2015-2023



## 2015 | 2023 県議会議員 1期目・2期目の取り組み

### 01 いいかね Palette 設立に奮闘 注目の廃校活用施設に



廃校となった市立猪位金小学校跡地を改装。新たに「なんでもできる世界をつくる」をコンセプトにした施設が誕生しました。現在ポッドキャストで全国的に有名になった「コテンラジオ」の聖地でもあり、全国各地から人が訪れるようになりました。



### 02 田川市全小中学校へ電子黒板 県補助金を大幅に拡充



田川市が進めていた電子黒板の全小中学校整備に対して、県の補助金を最大限活用できるよう交渉。結果、大幅に増額して交付することができました。その後田川市は「2020日本ICT教育アワード」において文部科学大臣賞を受賞しています。

### 03 県立高校「朝課外」強制を排除 選択制や廃止につなげる



長年強制で行っていた「朝課外（概ね朝7時30分から授業を行うこと）」について、教員の長時間労働や生徒の負担の観点から選択制にするよう迫り、実現しました。生徒の負担にも考慮した、充実した教育をこれからも提言していきます。



### 04 早稲田大マニフェスト大賞 福岡県議として初の受賞



一般質問や政策提言などで優秀な成果を上げた議員などに贈られる賞で、田川市議時代の下水道計画中止の政策提言などが評価され、受賞しました。県政はプロ集団ですが、県民の立場からの政策提言で、県政をより良くしていきます。

### 05 新型コロナ対策の拡充に奔走 各種相談にも対応



2020年1月から発生した新型コロナウイルスの対策に万全を期すため、保健所体制の強化、雇用確保など様々な提言を会派の政策担当責任者として行いました。また、中小零細企業の資金繰り相談、生活困窮者への貸付などを行政につないできました。

### 06 骨髄バンクドナー支援制度 休業補償などを拡充へ



私自身、骨髄バンクを通じて骨髄提供を行った経験から、ドナー助成制度の拡充を提言。休業補償をこれまでの7日から10日へ、バンク登録ボランティアの養成支援の充実などに上げました。引き続き、ドナー登録の推進も訴えていきます。

### 07 市小中学校の教員配置増にむけ 市教育長と陳情を重ねる



田川市は県内でも学力支援が必要な地域であり、教育予算と教員の充実が急務です。そのため、市教育長と共に県教委を何度も訪ね、教育予算確保、教員の充実を陳情しました。結果、教員配置等で成果を出すことができました。

### 08 県立高1人1台タブレット 公費負担で導入を実現



タブレット導入について当初県教委は難色も示していましたが、「人財育成」を掲げる服部知事に予算確保を議会で提言。知事の英断もあり、2022年度、全県立高校で公費による導入が実現できました。予算総額は約28億円にのぼります。

### 09 県営筑豊緑地公園に インクルーシブ公園設置へ



田川地域の障がい者団体の皆さんの陳情からはじまり、県当局へねばり強く訴えた結果、障がい児・者に配慮された公園の設置に向けた取組が開始されました。障がいの有無に関わらず、豊かな遊びを提供していただけるよう取組を加速させます。

## 取組んでいること

### 田川警察署の改築が決定

田川警察署の旧田川市武道館跡地（NTT裏）への改築が決定し、2022年度から予算化。市当局と県行政との橋渡しを行いました。



### 田川後藤寺駅前再開発推進

田川後藤寺駅前整備は、県道や都市計画など、県が多く関わります。市と連携して、早期整備が図られるよう、全力で取り組みます。



### 福岡県立大学の更なる充実

県立大学の老朽化した施設の再整備を進めると共に、学生数が増えるよう、市町村と連携して、県に要望していきます。



### 田川直方バイパス早期整備

渋滞緩和や地域振興にも重要な路線であり、早期整備が図られるよう、予算確保に努めます。



### 私の決意

皆さんの生活には、必ず政治や行政が伴走しています。辛いとき、困ったときは、助けとなる手段があります。厳しい地域だからこそ、そこで選ばれた政治家がどのような思いで政治を担い、皆さんに寄り添うかが大切です。41歳、皆さんから見れば荒削りな部分、不十分な部分も沢山あるかと思います。これからは皆さんから磨いて頂きながら、16年の政治経験をいかし、さらにお役に立つ県議会議員として頑張ります。

